（様式1）

学校番号	20	学校名	茨城県立水戸工業高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規
・学習指導要領

校訓

至誠　勤勉　協同　敬愛　質実　剛健

学校の教育目標

・望ましい職業観・勤労観の育成を図るため、キャリア教育・職業教育及び教科学習を充実させる。
・生涯学習の意義を明確に伝え、知・徳・体のバランスのとれた力を養う。
・道徳教育を重視し、基本的生活習慣の確立を図るとともに、規範意識の向上を目指す。

生徒の実態

・活発で行動的な生徒が多い。
・自己中心的なものの考え方をもっている生徒が少なくない。
・就職・進学希望の生徒の数はほぼ同数である。
・進路に関する目的意識を持って入学してきた生徒も多い。
・科によって、生徒の意識や在り方に違いが見られる。

保護者の願い

・思いやりがあり、人に親切になってほしい。
・資格を取得し、進路を実現してほしい。
・自主的に学習や運動に取り組んでほしい。

道徳教育重点目標

・自己の在り方を自分自身との関わりにおいてとらえ、望ましい自己の形成を育成する。
・自己を人との関わりの中でとらえ、望ましい人間関係を育成する。
・自己を様々な社会集団や郷土、国家、国際社会との関わりの中でとらえ、国際社会に生きる日本人としての自覚に立ち、平和的で文化的な社会及び国家の構成員として必要な道徳性を育成する。
・自己を生命や自然、美しいもの、崇高なものとの関わりにおいてとらえ、人間としての自覚を深めることを育成する。

地域の実態

・水戸駅の南およそ3kmに位置し、学校周辺は住宅および商業施設を中心とした地域である。
・国道に面するため車の交通量が多い。

各教科・科目

国語	様々な文章を読むこと、他者の意見を聴くこと、また話すこと・書くことを通して、自身の心情を豊かにするとともに他者を尊重する人間の育成を図る。
地歴	我が国及び世界の歴史や地理的認識を深め、国際社会で主体的に生きるものとしての自覚と資質を育んでいく。
数学	事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともにそれらを活用する態度を育てる。
理科	自然に対する関心や知識を高め、科学的思考によって物事を判断する能力を養う。
保体	様々な運動の実践を通し、相手を思いやり、協力し合う態度を養う。
芸術	美術の創造活動を歓び味わう態度を育成し、生涯にわたって美術を好する心情と豊かな情操を養う。
外国語	異文化を理解、尊重する態度を養うとともに、言語習得とコミュニケーション活動の育成に努める。
家庭	家庭や家族、社会の意義を考えさせ生きる力を育てるとともに、自立するために必要な知識と技術を習得させる。また、男女が助け合いながら社会を築き上げる実践的な態度を育てる。
情報	「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を養う。
総合的な探究の時間	・社会と自らの生き方を関連付けて考え、主体的に自身の進路を拓く姿勢と態度を養う。 ・生涯にわたって主体的に学び続ける「生きる力」の醸成。 ・基本的な生活習慣と規範意識の確立。
専門	「美しい国土」、「安全にして安心できる生活」、「豊かな社会」をつくり、改善し維持するために、その技術を活用し、品位と名誉を重んじ、知徳をもって社会に貢献できる態度を養う。

特別活動

ホームルーム活動

・高校における集団生活について理解を深め、学校生活への適応を図り、学習意欲と学校行事への積極的な参加意識を育てる。
・生活に自主性と自立性をもたせ規律と責任を重んじる態度を養う。他者を思いやる気持ちを育て社会性ある心身共に健やかな人間育成に努める。
・自己の適性と能力を自覚させ望ましい職業観・勤労観をもたせるとともに進路決定の力をつけ社会に適応できる健全な人格育成を図る。

・生徒会活動
　委員会活動や生徒会活動を通し、生徒の生徒会活動（本部・各種常任委員会）への参加及び意識を高める。

・部活動
　部活動の活性化と強化を図り、自主性・協調性を育む。

公民科

公共

・平和で民主的な社会を形成するために必要な多角的・多面的な思考力を育成し、日本人としての生き方を考えさせる。
・探究型学習の時間を設け、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。

・地域の諸課題について、諸資料から様々な情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身に付け、解決に向けて公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れた議論する力を養う。

生徒指導

・頭髪、服装の指導を通して規範意識を養う。
・授業をきちんと受けることを徹底する。
・挨拶運動を通して豊かな社会性や人間性を培う。
・登下校のマナー指導を実施し、公共マナーや自転車走行マナー等を守る態度を育成する。

家庭との連携

・遅刻、早退、欠席などの連絡について家庭との連絡を密にする。
・学校の方針を保護者に説明し、理解を求める。
・保護者との面談を充実させる。

地域社会との連携

・専門高校として地域社会、産業の発展に貢献できるものを求めるとともに地域との連携をはかる。
・アンケート、学校公開を実施して地域の関心と理解を深める。
・体験学習を通して、地域社会との関係を深める。